

平成 29 (2017) 年度

事業報告書

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

公益財団法人九州盲導犬協会

福岡県糸島市東 7 0 2 番地 1

盲導犬育成事業<公益目的事業1>

1. 視覚障害者に対する盲導犬の無償貸与と生活訓練等の実施について

(1) 盲導犬貸与頭数

①平成29年度は、盲導犬希望者に7頭の盲導犬を無償貸与した。

- ・代替6頭（福岡県3、沖縄県1、熊本県1、大分県1）
- ・新規1頭（山口県1）

②盲導犬貸与数

- ・貸与頭数累計240頭（タンデムを含む貸与者数248名）
- ・平成30年3月末現在の実働盲導犬46頭（盲導犬使用者47名）

(2) 公正な盲導犬貸与

盲導犬貸与規程ならびに盲導犬貸与審査に関する規定に基づき、公正な盲導犬貸与を目的に審査会を5回開催、盲導犬貸与申込者の選定および共同訓練等に関する審査を実施した。

(3) 盲導犬使用者に対するフォローアップ

- ①貸与後1年以内のフォローアップを充実させるとともに、盲導犬使用者が安全な歩行及び生活が継続できるようフォローアップの充実を図った。（期中フォローアップ件数は59件）
- ②九州盲導犬友の会の総会（6月）、友の会老岐レクレーション旅行（11月）等に参加してその活動を支援した。

2. 犬の飼育および訓練について

(1) 繁殖について

- ①期中子犬34頭（当協会出産子犬41頭-他協会譲渡子犬8頭+他協会譲受子犬1頭）を確保した。
- ②平成30年3月末の繁殖犬数は17頭（雄7頭、雌10頭）である。
- ③繁殖犬飼育委託家庭6件に対し、定期訪問42回を実施した。
- ④AGBN加盟協会との繁殖協力の維持・発展に努めた。

(2) パピーウォーキングについて

- ①期中延べ36頭の子犬を飼育委託した。
- ②期中飼育講習会21回、飼育家庭訪問回数99回を行い、飼育指導に力を注いだ。

(3) 候補犬の訓練について

犬の稟性・健康評価と並行して期中43頭の候補犬の訓練を実施した。

(4) 盲導犬の健康管理について

フォローアップ時に盲導犬の健康状態を聴取して健康維持のための指導・助言を行った。

- ・福岡県をはじめ各県獣医師会及び動物病院各位のご支援・ご協力をいただき、盲導犬医療特別措置（混合ワクチン接種など）を継続実施することが出来た。

- (5) 繁殖犬・リタイア犬等のケアについて
飼育ボランティアおよび獣医師の方々と連携して、繁殖犬及びリタイア犬の健康管理に対応した。
 - ・期中の盲導犬の引退頭数は7頭、期末の飼育委託頭数は37頭である。
- (6) 犬舎管理について
犬舎担当職員・訓練士が連携して最大管理頭数32頭の犬舎の衛生管理及び犬の健康管理に努めた。

3. 盲導犬訓練技術の向上について

- (1) OJTにより業務に必要な知識・技術を習得させるとともに、更なるレベルアップを図った。
- (2) 平成30年2月神奈川県で開催の全国盲導犬施設連合会主催の盲導犬育成ジャパンセミナーに職員3名を研修派遣、技術及び知識の向上を図った。

4. 関係団体への協力について

- (1) 日本盲人社会福祉施設協議会、全国盲導犬施設連合会、九州盲導犬友の会、県市社会福祉協議会等の関係団体が実施した福祉事業に協力、福祉の向上に努めた。

普及啓発事業＜公益目的事業2＞

1. 視覚障がい者に対する普及啓発活動について

平成29年6月ハートピア鹿児島で盲導犬体験歩行会、8月嬉野市のほじょ犬宣言発表会、9月糸島市市民まつり、10月RKBラジオまつり特設ステージ・福岡東タウンカーニバル、11月壱岐の島ホール体験歩行会・福岡市点字図書館、12月福岡市「障がい者週間記念の集い」等にて、盲導犬体験歩行やデモンストレーションを実施して盲導犬の普及啓発に努めた。

2. 盲導犬普及啓発街頭活動について

- (1) 盲導犬使用者、ボランティア、各地区ライオンズクラブ、西日本高速道路サービスなど多くの方々の協力を頂き、各地の動物愛護祭やイベントに参加して、盲導犬を中心とした補助犬の受入れの理解と普及啓発に努めた。
- (2) RKB毎日放送株式会社実施の「いっしょに歩こう！RKBラジオ盲導犬募金」キャンペーンでは、毎月福岡県内の各地の郵便局に盲導犬PR犬2頭を帯同して盲導犬の普及啓発に努めた。
 - ・福岡県内715の郵便局さんに募金箱を設置していただき、RKBラジオ盲導犬募金に多くの皆様から盲導犬育成募金（計4,181,651円）の協力をいただいた。

3. 実演・講演・体験歩行会の実施について

小中学校の視覚障害者福祉学習に講師を派遣して講演・実演 16 回、視覚障がい者の体験歩行会 10 回を実施、盲導犬を主体とした補助犬の普及啓発に努めた。

4. 一般社会への啓発活動について

総合訓練センターにおいて、一般見学会を毎月 1 回（12 月除く）開催し、年間延べ 446 名の見学者が来所した。一般見学会とは別に 33 団体 867 名に対する団体見学会を実施、その他のセンター来所者と合わせ約 2,900 名の方々に、盲導犬並びに身体障害者補助犬法について啓発活動を行うことが出来た。

5. ホームページ及び協会報による広報活動について

- (1) ホームページを使って、タイムリーな情報の発信に努めた。
- (2) 協会報「ハーネス九州」を福岡県共同募金会からの配分金 80 万円をもとに、年 2 回（2 月、8 月）計 18,000 部発行し、盲導犬使用者及び盲導犬受入れへの理解や身体障害者補助犬法等に関する情報提供に努めた。

6. 相談業務について

盲導犬貸与希望、盲導犬使用上の苦情、盲導犬受入れ拒否、盲導犬受入れ事業者からの相談、ボランティアの申出など苦情や相談に迅速に対応した。

管 理 部 門

1. 理事会・評議員会を適時に開催して健全な協会運営に努めた。

- (1) 理事会を次のとおり、4 回開催した。

開催年月日	主な決議事項
平成 29 年 5 月 30 日	・平成 28 年度事業報告及び財務諸表について ・定時評議員会の開催について ・盲導犬貸与審査会委員の選任について
平成 29 年 10 月 4 日	・職員採用について ・犬舎空調設備改修事業報告について
平成 29 年 12 月 5 日	・公益事業の統合について
平成 30 年 3 月 2 日	・平成 30 年度事業計画及び収支予算について ・評議員会の開催について ・法人会計区分の作成を省略することについて

(2) 評議員会を次のとおり、2回開催した。

開催年月日	主な決議事項
平成 29 年 6 月 19 日	・平成 28 年度事業報告及び財務諸表承認について ・理事 1 名の選任について
平成 30 年 3 月 16 日	・平成 29 年度事業計画及び収支予算について

2. 賛助会員について

今期末の会員数は 737 件（前期比 77 件増）である。

3. 募金箱・盲導犬自販機について

(1) 今期末の募金箱設置先は 1,849 件（前期比 62 件増）である。

(2) 今期末の盲導犬自販機設置先は 85 か所（前期比 2 か所増）である。

4. 職員に関する事項について

職員在籍状況		平成 30 年 3 月 31 日現在	
部 署	職 種	正 職 員	アルバイト・パート
管理部門	管 理 ・ 事 務	※2 名	2 名
事業部門 (盲導犬育成) (普及啓発)	盲導犬歩行指導員	2 名	
	盲導犬訓練士	3 名	
	研 修 生	3 名	
	ケネルスタッフ他		3 名
計		10 名 (前期比±0)	5 名 (前期比+1)

※2 名（常勤理事 1 名を含む）

5. 施設について

(1) 施設（総合訓練センター）の場所；福岡県糸島市東 702 番地 1

(2) 敷地面積；4,133.39 m²

(3) 建物

・管理棟（主な建物）

（構造等）鉄筋コンクリート造 3 階建て 1,479.11 m²

（主な設備）事務室、食堂、厨房、男女浴室、共同訓練生宿泊室（6 室）

多目的ホール、犬用医務室、相談室、会議室、

・犬舎棟

（構造等）鉄筋コンクリート造 平屋建て 574.25 m²

（主な設備）繁殖犬舎、第 1 犬舎、第 2 犬舎、犬具・フード倉庫、シャワー室

(4) 太陽光発電設備；太陽電池出力 48 k w

事業報告の附属明細書

特に記載すべき事項はありません。